

■ キャンプのテーマ : さらにすぐれた指導に向かうための新しい立ち位置をデザインできるか

“知”を支えて発展してきた個別の科学が、今や分野横断的な総合的なプロセスに拡大して、“生”とさえコラボして“もの”を生産するだけでなく、“ものの存在意味”までを新しく作り出して私たちと係るようになってきた。世界を構成する構造が変わりつつある。それに対応して“デザイン”という概念や作用までがその位置づけを変えてきている。今やそこにあるものを分析して、次の一步を決めるというのではなく、“もののあり方”ばかりか“～すること”の“夢”や“理想”を新しく生み出して、直接そこに向うようにデザインする力が求められるようになってきている（ラインベルガーやシェフナーはこうした働きを、新たな意味を持たせて“デザイン”と呼んでいる；2015年）。リオ・オリンピックの女子シングルス決勝は、これまでの女子シングルスの競技構造に新たな様相を提示して見せている。その新しさの意味や意義は深い・広範な解析と検討を私たちに迫っている。東京オリンピックまであと4年、その後を論じるよりは先ずこの4年の課題を上記の“テーマ”のように設定してみた。東京アスレティック・オリンピックへの第1歩の踏み出し方についてである。このまま行けば、道は開けるか？ 開けるべき新しい扉はあるか？ 皆で考えてみたいと思う。

丁度企画をしている時に菓子のお土産を頂戴した。「富士山 静岡 こっこ 旅で出会ったかわいい子」である。この包装のデザインを頂戴すれば、次のようなテーマをを探索、ということになるだろう。



未だ卵の課題



生まれたばかりの課題



今行われている課題



今は眠ってしまっている課題

■ プログラムと日程 :

1(土) 時間	プログラム	2(日) 時間	プログラム
09:00		09:00	開始/講義 バーステージェンのプログラムを再考する 10:00
10:00	開会式/講義:新しい時代が到来する息吹きはあるか		
11:00	講義:5歳児までの問題を考える(badmintonを捉える)	11:00	講義:午後のトレーニングのための勉強
12:00		12:00	
13:00	講義と実習 :新モデル テンセグリティー???	13:00	実習:① バーステージェンのコア・パフォーマンス・
14:00	シンギュラリティー???	14:00	トレーニングの展開(MPから弾性まで)
15:00	講義:新モデル「リカーシブルな意識」という?な課題	15:00	② BWFの新・指導法の紹介と用語体系の検討
16:00	〃 新しい指導課題、指導モデルの提示	16:00	閉講式(予定)
17:00	〃		
18:00	初日のプログラムの終了(予定)		